

登録No. S-098
 登録名 Tri-HER/SOX療法
 催吐性リスク 中等度
 適応疾患 胃癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	S-1	基準量		d1~14	p.o.	分2朝夕食後	2週投与1週休薬
Rp.2	トラスツズマブ 生食	初回8mg/kg 2回目以降6 mg/kg 250mL/body		d1	d.i.v.	初回90minで忍容性 良好であれば2回目以 降30minまで短縮可	
Rp.3	グラニセトロンパ ッグ デキサメタゾン	100mL/body 9.9mg/body		d1	d.i.v.	30min	
Rp.4	グルコン酸Ca 硫酸Mg 5%ブドウ糖液	10mL/body 10mL/body 50mL/body		d1	d.i.v.	15min	オキサリプラチン前 末梢神経障害予防
Rp.5	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	血管痛が起きたらデキサ メタゾン1.65mg混注
Rp.6	グルコン酸Ca 硫酸Mg 5%ブドウ糖液	10mL/body 10mL/body 50mL/body		d1	d.i.v.	15min	オキサリプラチン後

1クールの間 3週間
 その他（副作用・PS規定等）

注意： トラスツズマブ以外の薬剤で副作用が起きた場合はトラスツズマブのみ単独で継続することが望ましい。
 ※投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 infusion reactionがみられた際は投与中止。

（再開時期について特に規定はないが臨床症状をよくみて症状が軽度なら継続投与可能。）
 infusion reactionは解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、重症時はO₂投与、ステロイド。

心機能障害ある際は慎重投与。

副作用： 骨髄抑制(血小板減少、好中球減少など)、DIC、末梢神経障害、ショック、アナフィラキシー
 間質性肺炎、下痢など。

減量基準：	項目	基準	S-1	L-OHP
	WBC	<1000	-1段階	-1段階
	Neu	<500	-1段階	-1段階
	Plt	<5万	-1段階	-1段階
		≧5万、<7.5万	—	-1段階
		次J-7開始予定日 ≧7.5万、<10万	—	-1段階
	下痢	Grade3以上	-1段階	—